

令和2年
伊豆市議会3月定例会

一般質問

令和2年3月

令和2年伊豆市議会3月定例会一般質問者と質問事項

2月21日（金）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
1	1 波多野靖明	1 麴町中学校に見る新中学校と人口減少対策	市長 教育長	1
		2 市民参加型の観光集客とPRについて	市長	2
		3 新こども園及び児童発達支援センターについて	市長	
2	9 青木 靖	1 2020年教育改革と社会変化への対応	教育長 市長	3
		2 オリンピック・パラリンピックへの市民参加と オリンピック後の観光政策	市長	5
3	11 小長谷順二	1 伊豆市のファンづくり～関係人口の創出～	市長	6
		2 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために	市長	7
4	10 永岡 康司	1 雇用の安定と確保について	市長	8
		2 誰もが活躍できる社会の実現について	市長	9
		3 子ども・子育て支援について	市長	10
		4 豊かな教育環境の実現について	教育長	11
		5 賑わいのあるまちづくりについて	市長	
		6 交通弱者支援について	市長	
		7 広域連携について	市長	
5	2 山口 繁	【人口減少対策を改めて問う】	市長	13
		1 人口の自然減、社会減への対応	市長	
		2 将来の人口設定を踏まえ、まちの姿はどのよう になっているか	市長	14
		3 政策の3本柱は機能したのか	市長	15
		4 新たな危機宣言を發せよ	市長	16

2月25日（火）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
6	6 下山 祥二	1 伊豆市が予定している大型事業の期待と課題	市長 教育長	17
		2 市民の安心・安全を守る行政の役割とは	市長	18
7	3 星谷 和馬	1 令和2年予算編成について	市長 教育長	19
		2 伊豆市美術館建設について	教育長	20
8	12 小長谷朗夫	1 学校給食無償化を考えませんか。	教育長	21
		2 土肥地区での「山村留学」実施は考えられないか。	教育長	22
9	15 木村 建一	1 天城支所跡地を公募したとしても、東京ラスク 事業展開に支障はないと判断していますか	市長	23
		2 「人口危機宣言」から11年、市民に何を語りますか	市長	
		3 子育て応援から見た国保の子ども均等割をどう 見えていますか。	市長	24
10	5 鈴木 正人	3期12年の市政運営の総括を	市長 教育長	25

2月26日（水）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
11	14 杉山 誠	1 防災公園の整備について	市長	26
		2 新中学校の体育関連施設について	市長 教育長	
		3 SNS犯罪から子供を守る取り組みについて	教育長	27
12	13 西島 信也	新中学校整備基本構想について	教育長 市長	28
13	15 森 良雄	1 防犯カメラ	市長	29
		2 働き方改革	市長	30
		3 通学路の安心・安全	市長 教育長	31
		4 トレイルランニングレース	市長	
		5 災害の早期復旧	市長	32
		6 パソコン教育	教育長	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年 2月 10日

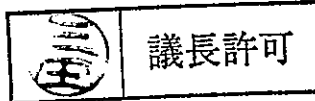
伊豆市議会議長 様

議席番号 1 議員名 波多野 靖明

No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 麴町中学校に見る新中学校と人口減少対策	<p>東京都千代田区にある区立麴町中学校の取り組みをご存知でしょうか。公立ながら私立のような独自の学校教育方針は、現代の社会情勢に強い未来の子ども達の育成に見合った教育なのではないかと考えます。</p> <p>タブレットを利用した個人のレベルにあった学習方法や、宿題・中間テスト・期末テストの廃止、その代替りの実力テストや小テストの実施。</p> <p>また、担任制を廃止し、学年で教員のチームを組み、教員の得意分野に合わせて生徒への関わりを持っています。</p> <p>他にも体育祭などの学校行事は、生徒主体での開催で、生徒自ら運営していくことにより、与えられる学校教育ではなく、自ら考え行動する人を育てるための教育となっています。</p> <p>麴町中学校の人気は高く、越境入学も多い。つまり、現在の教育のあり方として求められているものが、そこにあるからだと考えます。</p> <p>伊豆市も現在、新中学校建設に向け動いております。今後の未来を見据えての教育方針は、必ずしも今まで通りのやり方が最善ではなく、親が子どもを任せたいと思う学校づくりには、このような思い切った取り組みが必要不可欠ではないのかと感じます。</p>	市長・教育長

件名	内容	答弁を 求める者
2.市民参加型の観光集客とPRについて	<p>また、人口減少の進む中、住みたいまち・子育てをしたいまちづくりにも、新中学校の方向性次第では、子育て世代の需要の部分で大きなキーポイントになるのではないかと考えますがいかがでしょうか。</p> <p>伊豆市を含め伊豆半島には「温泉（湯治場）」「歴史的建造物」「神社仏閣」「自然」「文学」「食」等の魅力あるものが沢山あります。また、伊豆市商工会には「いずっち」というご当地ゆるキャラがあり、イベント等に参加して人気を集めています。魅力的な財産を多くの人に知ってもらい、触れてもらい、感じてもらう為には、まずは伊豆に足を運んでもらうためのPR活動が重要と考えます。そして、再度訪れてもらうリピート力に繋げる為の仕掛けも必要だと思えます。</p> <p>また、今年に入り、新型コロナウイルスの爆発的な感染に伴い、相次ぐ海外旅行客のキャンセルに多くの観光業が痛手を負っていると聞きました。その為、安定した集客をする為には、日本国内でのPR活動も重要だと再認識しているところです。</p> <p>現在は多くの方がスマホを持ち歩き、個人がSNSで日々の出来事を気軽に発信をし、企業でもSNSを使った宣伝をしています。そこで、そのSNSを利用した伊豆市のPR方法を確立することが重要だと考えますが如何でしょうか。</p>	市長
3.新こども園及び児童発達支援センターについて	<p>新こども園及び児童発達支援センター新設に伴うお子さんの受け入れ案内について現状はどのような内容になっているのか、確認のためお聞き致します。</p>	市長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年 2月10日

伊豆市議会議長 様

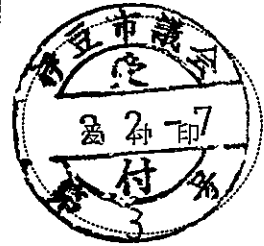
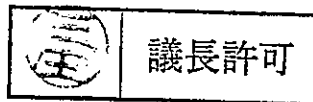
議席番号 9 議員名 青 木 靖

NO. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 2020年教育改革 と社会変化への対応	<p>文部科学省では、AI（人工知能）やIoT等 様々な技術の発達により社会が激しく変化することで、求められる人材（社会の形成者）や必要な知識・能力が変化していることに応じて、2020年教育改革と称して、教育の内容を変えようとしているところです。</p> <p>1) 大きく3つの改革が行われるなかで、グローバル化に対応する為の「英語改革」について伺います。</p> <p>①小学校3・4年生は、「外国語活動」として英語の授業が開始され、小学校5・6年生では、「英語」が教科として導入され、テストがあり、成績が付くようになります。</p> <p>市内の小中学校での対応の状況はいかがでしょうか。</p> <p>②中学校では、「英語の授業を基本的にすべて英語で行う」とされています。</p> <p>市内の中学校での取り組みの状況はいかがでしょうか。</p> <p>2) AIの発展に対応する為の「プログラミング教育」の必修化について、現在、当市ではどのように検討されていますか。</p>	教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>3) 今回の教育改革による「新学習要領の導入」と「英語改革」が行われることで、教師の仕事量の増加、多忙化が懸念されます。</p> <p>当市では、教師の多忙化にどのような対策を行い、働き方改革を進めていますか。</p>	
	<p>4) 2020年教育改革は、「変化の激しい社会を生き抜くために必要な力・人間力の育成を目標にしている」とされています。</p> <p>「1台のコンピュータ（又は人工的な知性）の知能が地球上の全人類の知能の総和を超えてしまう状態・時点（技術的特異点）」のことを内閣府では、「シンギュラリティ」と定義していて、これからの社会では何が起きてもおかしくない、そしてそれらは2045年前後に起こる可能性がある、ともいわれているようです。</p> <p>一方で、5Gによる高速大容量通信・IoT・ロボット・AI・ビッグデータ等を活用することで、経済の発展と社会的課題の解決を図る新しい社会「Society5.0」が到来する、ともいわれています。</p> <p>私たちは、これからのまちづくりを進める上で、又、新しい学校を作ろうとする時、こうした社会的背景を踏まえて、計画を進めていく必要があると考えます。</p> <p>市長の所見を伺います。</p>	<p>市 長 教育長</p>

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. オリンピック・パラリンピックへの市民参加とオリンピック後の観光政策	<p>いよいよ今年の夏、伊豆市において、東京 2020 大会が開催されます。オリンピック・パラリンピックが、伊豆市で開催される、この機会に、伊豆市民がいかに参加できるのか、直前のタイミングで、確認させていただきたい。</p> <p>又、大会後の観光振興にどのような政策を展開していくのか、伺いたい。</p> <p>1) 開催地である 伊豆市の市民が、自転車競技の観戦においては、どのようにかかわることが可能か、市の立場から 伺います。</p> <p>オリンピック、パラリンピック、それぞれについて、個別に説明を求めます。</p> <p>2) オリンピック・パラリンピックが開催されることにより、伊豆市を世界にアピールする効果が期待される所です。</p> <p>そこで、今までの観光政策で どのようなことがなされてきたのか、確認させていただき、今後の政策が、どう変わっていくのか、伺いたい。</p> <p>日本の観光を取り巻く環境の変化を交えて、今後の当市の観光振興の展望を説明していただきたい。</p>	市 長



発 言 通 告 書

下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年2月7日

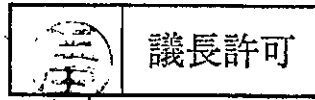
伊豆市議会議長 様

議席番号 11 議員名 小長谷順二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 伊豆市のファン作り～関係人口の創出～	<p>総務省において開催した「これからの移住・交流施策のあり方に関する検討会」において、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者である「関係人口」に着目した施策に取り組むことの重要性が議論されました。</p> <p>総務省では平成30年度に「関係人口」創出事業を、平成31年度に「関係人口創出・拡大事業」を実施し、国民が関係人口として地域と継続的なつながりを持つ機会・きっかけを提供する地方公共団体を支援していく方向と伺っています。</p> <p>新たな伊豆市ファンをつくることになる関係人口の創出は、地方創生に向けて政策に落とし込み、推進していくことが必要と考え以下の質問をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 既に地域を支えている地域外の方々が今後も継続的に地域に関わり続けられるような仕組み作り 2) 出身者やその地域にルーツがある方、そしてふるさと納税の寄附者を関係人口のターゲットとして設定し、ふるさと納税者と地域課題とのマッチングや地域課題の担い手として地域への関わり度合いを深める取組みについて 3) 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」税制改正により減税の割合を約9割まで引き上げる予定の「企業版ふるさと納税」を活用した企業との関係人口について 	市長

<p>2. 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために</p>	<p>日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。H30年の国の高齢化率は28.1%、H31年の静岡県の高齢化率は29.1%で伊豆市の高齢化率は39.6%と県下で10番目に高い高齢化率になっています。このような状況下、国は団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に取り組んでいますが、土肥地区においては高齢化率49.4%とすでに「肩車型」社会に突入しており、高齢化社会の最先端を進んでいるので早急な対応が必要です。</p> <p>今後、認知症高齢者や単身高齢世帯等の増加に伴い、医療や介護サービス以外にも、在宅生活を継続するための日常的な配食・見守り等の生活支援を必要とする方の増加が見込まれます。そのため、行政サービスのみならず、NPO、ボランティア、民間企業等の多様な事業主体による重層的な支援体制を構築することが求められることと同時に、高齢者の社会参加をより一層推進することを通じて、元気な高齢者が生活支援の担い手として活躍するなど、高齢者が社会的役割をもつことで、生きがいや介護予防にもつなげる取り組みが重要とされているので以下の5つの項目について質問をいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域包括ケアシステムは、県や市町が地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要とあるが、市内4地区の地域包括支援センターの独自の活動状況とこのシステムを構築するうえでの課題等について 2) 認知症高齢者数は、2025年には現状の7人に1人から5人に1人に上昇するといわれているが、認知症高齢者の増加に伴う介護の担い手不足の対応について 3) 介護予防等で実施している住民主体の運動教室の状況と課題 4) NPO法人～土肥の暮らしを支える会 きずな～の設立の動きがあるが、立上げの背景と設立に関する市の支援について伺います。 5) 社会福祉の増進のために、地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行っている民生委員の現状と課題 	<p>市長</p>
---------------------------------	---	-----------



発 言 通 告 書

下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年2月7日

伊豆市議会議長 様

議席番号 10

議員名 永岡 康司

No. 1

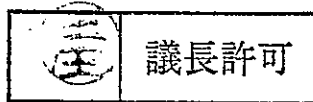
発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1.雇用の安定と確保について	<p>伊豆市の活性化、住よいまちづくりを進めるにあたり、以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 静岡県内の2018年3月時点の県外大学卒業者のUターン就職率が37.6%と前年より悪化しています。伊豆市のUIJターン就職の更なる促進を図るよう、静岡県とも連携し、就業支援の充実を図ることが急務となっていますが、どの様な対応をしたのか、又今後の対応をどの様に行っていくのか伺います。</p> <p>(2) 有効求人倍率は、ここ数年高い水準にありますが、非正規雇用の求人割合が正規雇用よりも高くなっており、労働力人口が減少する中、より安定した雇用の創出が必要となってきました。有効求人倍率が示す通り、雇用の場の確保は改善傾向にありますが、雇用のミスマッチの解消やキャリアアップのための支援も必要です。伊豆市において、均等な雇用機会の提供に関する事や労働条件に関する情報など、関係機関との連携を通じて、各種啓発に努めなければなりません。どの様に考えますか。</p> <p>(3) 2019年4月より改正入管法が施行され、今後、外国人労働者が増加してくると思います。この方たちが安心して働くことができ、市民と同様に受け入れるような対応をしなければなりません。又、地域とのコミュニティに関しても、整備が必要と考えますが、現在は何の様になってい</p>	市長

件名	内容	答弁を 求める者
<p>2.誰もが活躍できる 社会の実現について</p>	<p>ますか。今後の対応はどの様に考えているのか伺います。</p> <p>(4) 多様な働き方推進の基盤としての健康経営の視点は重要です。健康で生き生きと働き続けられる環境は、職員などのモチベーション向上や離職率の低下に繋がることから、健康経営に関する事業主への周知と庁内の取り組みはどの様に考えているのか伺います。</p> <p>(5) 伊豆市における事業所のほとんどが中小企業です。地域経済及び産業を活性・発展させるためには、融資など積極的に行い、既存の企業の経営基盤を安定させ、更に、起業家の育成や技術の育成及び人材確保が欠かせません。雇用の確保・創出と合わせて、中小企業に対し、行政としてどの様に支援し、その取り組みはどうか伺います。</p> <p>(6) 地域雇用の創出には、企業誘致を推進していく必要があります。新たな税収の確保や地域振興なども効果が期待できることから、既存企業や関係機関などと連携を取り、積極的に進めなければなりません。雇用の創出と企業誘致について、今までの実績と今後の取り組みを伺います。</p> <p>(7) 人口減少に伴い、労働人口が減少していく中で高齢者の雇用促進が言われています。働く意欲のある高齢者が年齢にかかわらず、豊富な経験や技術・能力を活かして、企業や地域で働く事が出来る環境整備や就労支援・情報提供・相談窓口の一元化等対応が必要と思いますが、どの様に考えているのか伺います。</p> <p>(1) 労働者の団体である連合も従業員が子育てや介護に従事する事や男女がお互いに人権を尊重し、個性や能力を発揮することが出来る社会の実現を目指し、「男女共同参画」を推認しています。国においても、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律である俗にいう「女性活躍推進法」が平成28年4月1日に施行され、今までも各種取り組みを行っていますが、実態としてはなかなか進んでいないように思います。より実効性のある取り組みを、今後どの様に取り組んで行くのか伺います。</p>	<p>市長</p>

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
3.子ども・子育て支援について	<p>(2) 現在、ほとんど世帯が共働きをしており、子育てや介護を抱えながら仕事をされている方も多くみられます。このような方たちが安心して働くことのできるような、行政サービスの充実及び取り組みについて伺います。</p> <p>(3) ワークライフバランスは、家庭内における男女がお互いに協力し合い、仕事と家庭の両立を図り、それぞれが調和のとれた生活を営んでいくライフスタイルです。従来の男性型中心の労働慣行を見直し、男性も家事・育児・介護等の家庭生活に主体的に参加できるよう、行政の立場からの積極的な意識啓発が必要と考えますが、今後の取り組みは如何ですか。</p> <p>(1) 共働き世帯の急増により、こども園や保育園における低年齢児の待機児童問題解消があります。毎年状況が変化していく中ではありますが、引き続き待機児童ゼロを目指し、できれば誰もが希望するこども園等に入れるよう取り組みを期待しますが、現状は如何ですか</p> <p>(2) 静岡県の平成30年度「静岡県こどもの貧困対策計画」の評価書は、全体として着実な進捗が見られると報告がありました。伊豆市において、ひとり親家庭への負担軽減策や子育てと仕事の両立支援策、そして地域社会の子育て支援の取り組みを期待しますが、現状どのような施策を行っているのかお聞きします。</p> <p>(3) 全国的に重大な児童虐待事件が後を絶たず、相談件数も増加していると伺っていますが、子どもの命と安全を守るために、関係機関ともよく連携を取って、相談体制の強化を図り、早期に対応でき、適切な保護が出来るよう希望しますが、取り組みを伺います。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
4.豊かな教育環境の実現について	<p>(4) まち・ひと・しごと地方創生事業は、人口減少に歯止めをかける事業であり、その事業取組は多岐にわたっています。目標値と実効性がずれないように、有識者との検討を十分に行って、人口減少に歯止めをかける地方創生事業の更なる取り組みを期待しますが、市長の考えをお聞きします。</p> <p>(1) 次代を担う子どもたちの教育に関して、これからはより一人ひとりに対して指導が行き届くようにしていくことが必要です。それぞれの個性や能力の伸長を図ること、生きる力を身につけることが出来る学習活動の充実を図ること、子どもたちが楽しく学び、仲間と楽しくすることが出来る環境を地域・家庭とも連携し推進していくことが大事と考えますが、考えをお聞きします。</p> <p>(2) 特別な支援を必要とする児童・生徒及び外国籍の児童が増えているといわれています。教員の専門知識の習得と向上とそれぞれに適した支援体制の強化が必要と考えますが、考えをお聞きします。</p> <p>(3) 教育施設に関する環境の整備を図っていると思います。多様化に対応した設備環境の整備が急務となっていますが、これからの対応をお聞きします。</p>	教育長
5.賑わいのあるまちづくりについて	<p>(1) 商業施設支援や観光事業に対し、積極的な取り組み、賑わいのあるまちづくりが必要です。今後、又は将来に向けた展望をお聞きします。</p>	市長
6.交通弱者支援について	<p>(1) 高齢者による交通事故が全国的に多発している状況であり、運転免許証を返納される方が増えています。そういう方たちを含めた交通弱者支援のための施策を伊豆市の実情を勘案し、充実を図っていかなければなりません。伊豆市の対応を、お聞きします。</p>	市長

件名	内容	答弁を 求める者
7.広域連携について	<p>(1) 広域行政について、交通や医療、防災など、市民の活動範囲が拡大しています。広域的な対応が必要な状況になってきており、市民のニーズも広域的な行政サービス（施設利用や各種届出等）を求めている様に思います。可能な限り近隣市町と連携を取って頂き、皆が同じような行政サービスを受けられるようなシステムが必要と思います。今後に向けて広域連携が出来るような研究・検討が必要と思いますが、どの様に考えますか。</p> <p>(2) 災害発生時に特に配慮が必要な方（高齢者・障がい者・外国人・乳児等）に対する支援について、日常から地域社会ネットワークを構築できるように市がそれぞれの連携を取って、被害者を出さないような、防災の広域連携が必要と思いますが、市長の考えを伺います。</p>	市長



発 言 通 告 書

下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年2月7日

伊豆市議会議長 三田 忠男 様

議席番号 2 議員名 山口 繁

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
人口減少対策を 改めて問う 1. 人口の自然 減、社会減への 対応	<p>市長の任期もあと僅かとなりました。</p> <p>このような時期に市長に答弁を求める一般質問は、そのテーマの設定が難しいのですが、誰が市長になろうとも市政の根本をなす課題とその対策は継続されるべきものと思います。そのような観点から質問をいたします。</p> <p><u>伊豆市の最大の課題は、「人口減少対策」である</u></p> <p>市長もその問題意識を持ち、これまで「人口減少危機宣言」を発するなどして、各種の政策を実行してきたということですが、残念ながら結果として人口減少に歯止めはかかっていません。</p> <p>改めて、この人口減少問題については、原点に立ち戻り、伊豆市として何をなすべきかをしっかりと考える必要があります。</p> <p>そのことを踏まえ、以下の点について確認しておきたいと思えます。なお、これまでの一般質問の中で採り上げたものもありますが、私としては、明確な答弁をいただいたとは思っていないものがあるということをご承知おきください。</p> <p>人口減少には、出生数と死亡数との差で生じる自然減と転出入の差で生じる社会減があります。日本全体の人口減少問題を単純に捉えたときに、その解決策として出生数をいかに増やし、その結果どれだけ自然減を少なくできるかということであろうかと思えます。社会増減は、全体人口の動静とは関わりなく、住民個人の生き方や</p>	市長

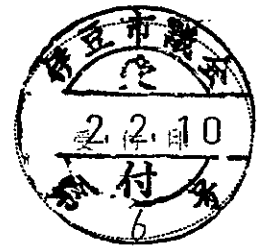
<p>2. 将来の人口設定を踏まえ、まちの姿はどのようなようになっていくのか</p>	<p>生活の必要性に応じて、その自治体において転出入することにより生じます。転出を防ぐための政策は重要ですが、それはともかくとして転入を図るための各種政策を進めることは、自治体間の人口の奪い合いという事象にもつながります。しかしながら自治体そのものを持続可能なものとしていくために、人口を維持するあるいは減少を緩和させる政策を打つことは背に腹はかえられないものでもあります。</p> <p>①自然減対策の政策指標として、「合計特殊出生率 1.25 から 1.69 への引き上げ」「次世代の各年齢人口 200 人」がありますが、これらをめざすために具体的にどのような取組みをしてきたのか、その成果評価について直近のデータを含め解説願いたい。</p> <p>②社会減への対策として関連の深い取組みとして、「移住・定住の促進」「就労機会の拡充と U・I ターンの促進」「子育て環境の充実」等がありますが、これらについても同様の解説をお願いしたい。</p> <p>③そして、これらについて、今後どのように取り組んでいくのか、優先的に取り組むべきことは何なのかについて解説願いたい。</p> <p>第 2 次総合計画にも示されているとおり、計画最終年度の令和 7 年度（計画では平成 37 年度、新元号に読み替え）の設定人口は、まち・ひと・しごと創生人口ビジョンに基づき 28,500 人としています。</p> <p>①その頃には、ネットワーク型コンパクトタウンが形成された伊豆市の姿がそこにあり、大きくは 4 つの地域振興拠点が確立されていると思います。そこには身近な商業施設や交流施設等の日常生活機能を集約するということになっていますが、その点について今現在どのような進捗を見せていますか。また、その拠点のエリア人口、周辺の人口などやまちのかたちはどのような構造になっているのか、さらには、そこに居住する住民の利便性、行政サービスのための市役所機能（支所機能、職員規模・構成等も含む）はどのようなになっているのかも併せて解説願いたい。</p> <p>②同ビジョンでは、2040 年（令和 22 年）に人口 23,000 人を想</p>	<p>市長</p>
--	--	-----------

<p>3. 政策の3本柱は機能したのか</p>	<p>定しています。15年間で5,500人の減少（年間平均366人の減少）を見込んでいますが、これはここ何年かの減少ペースより緩やかなものです。この根拠はどのようなものですか？</p> <p>③人口動態の2040年以降の展望をどのように考えているかということと、市長がよく言われる行政サービスを維持するために最低必要な人口水準とはどのくらいのものですか。</p> <p>人口減少危機宣言を発して10数年経ちました。この間、「雇用」「所得」「定住」の3本の柱を掲げ、その実現のために各部局ごとに知恵を働かせて、様々な政策を実行してきたことは承知をしています。</p> <p>個別政策の内容については、他の市町に肩を並べあるいは超えるものもあるように思いますが、結果として人口減少に歯止めをかけることができていません。</p> <p>①政策の3本柱について、12月定例会において、その進展について尋ねたところ、市の経済総生産や雇用者報酬などの経済統計で説明をされました。その数字をどのように捉えるかではありますが、当初掲げられた政策の3本柱が機能したとは思えません。改めて、この「雇用」「所得」「定住」について、当初期待していたものと現状との乖離があると思われそうですが、そのことについてどのように考えるのか伺いたい。</p> <p>②個別の政策に関しては、担当部局の努力で他の市町に見劣りをしないものが用意をされたと思いますが、それが多くの人たちに有効に活用されていたのかという点に問題があるように思います。政策の情報発信力・アピール力が足りなかったのではないか、制度の使い勝手が良くないのではないかとの見方もありますが、こうしたことも含めて政策効果が発揮できていないことをどのように考えるのか。また、今後の展開としてどのようなことを考えているのか伺いたい。</p> <p>③「人口減少危機宣言を市長が発する」→「各部局が個別政策を展開する」というシンプルな構造であったと思いますが、これでは組織的にあまりにも短絡的であり脆弱のように思えます。市長のもとに司令塔を置いて（現在の組織では総合政策部でし</p>	<p>市長</p>
-------------------------	---	-----------

<p>4. 新たな危機宣言を發せよ</p>	<p>ようか)、各部局に対する政策立案の指示、策定された政策の整合調整、政策実行の指示と情報発信、利用者目線での窓口対応、展開された政策の効果性の検証等々について、一元的に統括管理するということが必要ではないでしょうか？この点についての見解を伺いたい。</p> <p>「人口減少危機宣言」に替えて、新たに「人口減少危機“突破”宣言」を發するべきと思います。</p> <p>結果が伴わなかった危機宣言は、「危機を宣言しただけ」に終わったと言われても仕方がありません。新たに人口減少対策としての政策を体系的に整理し、必要な情報発信をすることと相まって、市全体が一丸となって危機突破に取り組むという強い決意を込めて、市の内外に高らかに宣言すべきです。</p> <p>これまでの一般質問で、それらに対応する窓口機能を住民の利便性、わかりやすさを考慮してワンストップでできるようにとの主張をしてきていますが、庁内組織管理や人員政策上困難であるとの答弁をいただいております。</p> <p>現状を見ても、移住・定住、子育て、教育などの相談や手続きの窓口が、本庁、生きプラ、中伊豆支所に分散しており、少なくとも、部局は違えども本庁の窓口周辺に住民の側に立った機能を集約する工夫をすべきと考えます。</p> <p>新たな宣言を發すると同時に、住民の利便性を備えた態勢をしっかり作り、伊豆市の人口減少に取り組む本気度を内外に訴えることが必要ではないでしょうか。これに対する見解を伺いたい。</p>	<p>市長</p>
-----------------------	---	-----------



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

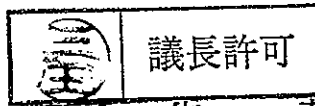
令和2年2月10日

伊豆市議会議長 様

議席番号 6番 議員名 下山 祥二

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1. 伊豆市が予定している大型事業の期待と課題	<p>昨年11月に見直された伊豆市財政シミュレーションに計上された大型事業について伺います。</p> <p>長期的に持続可能な伊豆市の創造のため政策は30年40年先まで検討すべきであると思いますが、近年の地球環境の変化は凄まじく社会情勢や国際情勢の将来予測は極めて困難であります。10年先までの財政シミュレーションであれば比較的近似値的な予測となり、政策や事業の成果については、現執行部や議会が十分責任とすべき期間であると考えます。そこで今後の伊豆市の大型事業について市民が期待していること、また現状での課題は何かを明らかにして事業推進すべきであると思い、下記の4事業について質問いたします。</p> <p>① 新中学校整備事業については、文教ガーデンシティ事業の目玉として、子育て世代の期待や関心は非常に高く、事業の行方は市内外からも大いに注目されたものでした。本議案が否決された後、市民レベルでは3年近く立ち止まったままです。本年1月21日の全協で教育長から校地は日向地区に決定したと報告されましたが、今後の具体的なスケジュールについて伺います。</p> <p>② 都市防災公園整備事業は、昨年の大型台風の教訓から市民の命を守るために長い時間を掛けて検討している場合ではなく、早急に事業化に向けて進めるべきであると思いますが、今後どのように進めていきますか。</p>	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
<p>2. 市民の安心・安全を守る行政の役割とは</p>	<p>③ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連経費は、本年7～8月までのオリンピック終了までですか。大会終了後のレガシーづくりについてはどのように考えていますか。</p> <p>④ 市町村防災行政無線（同報系）デジタル化整備事業について、その状況を伺います。</p> <p>昨年は伊豆市も大型台風15号・19号に見舞われ、未だに完全復旧には至っておりません。近年の地球温暖化による環境破壊の影響は、今年も豪雨災害・大型台風の襲来は避けられないのではないかと危惧いたします。</p> <p>国が進める、防災・減災・国土強靱化の事業は当市においても、砂防堰堤の建設・河川土砂撤去工事等、伊豆市の至るところでその恩恵に授かっていることは多くの市民が認識されているところです。</p> <p>しかしながら、市民の安心・安全を守る行政の役割は普段の身近なリスクを回避することも、同様に期待されるものと考えます。</p> <p>昨年6月議会の一般質問の答弁をもとに、その後の進展について伺います。</p> <p>① 最近の高齢者事故の傾向は把握されていますか。</p> <p>運転免許証の自主返納サポート体制（優遇制度）の取組みはどうか。</p> <p>高齢者が運転免許証を返納した後、買い物難民になってしまうと言うという声に答える具体的な対策は進んでいますか。</p> <p>② 伊豆市内の国道・県道・市道において、交通事故のリスクが高い箇所の改善は進んでいますか。</p>	<p>市 長</p>



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2 年 2 月 10 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 3 議員名 星谷和馬

No. 1

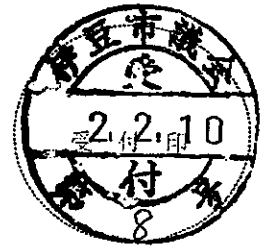
発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・質疑・反対討論・賛成討論・その他()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
令和2年予算編成 について	<p>議員各会派14名が令和2年度予算編成について11項目を市長に要望した(1. 移住定住 2. 子育て 3. 教育 4. 結婚奨励 5. 地域交通 6. 防災 7. 観光 8. 森林整備 9. 生活環境 10. 医療・福祉・介護の充実 11. 議会)</p> <p>限りある財源であるがどれも必要不可欠な事業である。私共会派の要望について質問します。</p> <p>(1) 奨学金の導入について 回答の内容が曖昧、あわせて人口減少対策についても再度説明を伺います。</p> <p>(2) 移住定住事業について 昨年の議会報告会で、市内に家を建てたくても土地が無い等の意見がありました。 宅地造成をどのように考えているのか伺います。</p> <p>(3) 結婚奨励 出会いの場、イベント等のサポートは大変意義ある事業です。</p> <p>1. 新事業として 出会い支援事業補助金 ふれあいパーティー事業委託 少ない予算ですが内容を伺います。</p> <p>2. 市としてどの程度関与するのか伺います。</p> <p>(4) 防災</p>	市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
伊豆市美術館建設 について	<p>日本は地理的、地学的に大きな災害を被る国である。台風は毎年上陸し、近年は勢力が強くなっている。地震は1995年阪神淡路、2011年東日本、熊本とたて続きである。また南海トラフ巨大地震の発生が大変危惧されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 台風、地震に対してどのような防災対策をしていますか。 2. 新庁舎建設はどの程度考えていますか。 <p>修善寺温泉場に決定とのことだが、昨年11月に議会に提出したシミュレーションには日程と概算事業費が記載されていたが、令和2年度予算編成には削除されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理由を伺います。 2. その後の進捗状況を伺います 面積、規模、建設費、ランニングコスト 	教育長



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年2月10日

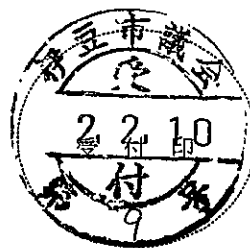
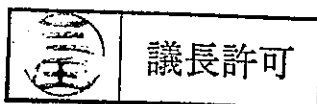
伊豆市議会議長 様

議席番号 12 議員名 小長谷朗夫

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問		質疑・反対討論・賛成討論・その他 ()	
発 言 の 要 旨				答 弁 を 求 め る 者	
件 名	内 容				
1 学校給食無償化を考えませんか。	<p>合併以来、伊豆市の人口減対策については、議会の場、市民レベルの諸会合の場においても共通課題として共有するところです。(多くの市民が心配している課題です)</p> <p>市長も「人口減少危機宣言」を発表して以来、市政の最重要課題に挙げ、ここ10年余、何とかという思いで施策を講じてきたことと思います。しかし、現実には厳しくその成果が(今月の人口を見ても)現れていないことが事実です。しいてもう一つ挙げれば、人口減に歯止めをかけたか、ストップ人口減に繋がったりする具体的な手立て、仕掛けが見えなかったことも否めません。</p> <p>そこで移住定住の促進、しいては人口減対策に繋がればと考え「学校給食の無償化」を提案します。そう簡単に実現するとは思いませんが、教育委員会ができる人口減対策に十分なり得ると考え、以下のことについて伺います。</p> <p>① 全国の給食無償化の現状をどうとらえていますか。</p> <p>② 平成30年に文部科学省は「学校給食無償化等の実施状況」調査を行った意図とねらいについて伺います。</p> <p>③ 実施自治体が無償化を開始した目的はどのような事柄が考えられますか。</p> <p>④ 一般論として無償化による成果はどのような事柄が考えられますか。</p>				教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>2 土肥地区での「山村留学」実施は考えられないか。</p>	<p>⑤ 義務教育費で一番負担が大きい給食費の無償化が一番の子育て支援だと考えます。本市でも導入に向け今後の協議事項にならないか。</p> <p>⑥ 完全無償化でなく二分の一補助にする、また第2子・第3子に補助するなど段階を経る方法もあるがいかでしょうか。</p> <p>⑦ 最後に憲法 26 条と学校給食法11条の関係をどう押さえているか見解を伺います。</p> <p>全国的な少子高齢化の波は土肥地区においても著しくその傾向が表れています。特に児童生徒数の減少は、まちの活力を根底から衰退させる大きな要因です。学校も地区もかつての勢いを少しでも取り戻すために山村留学（海浜留学）を考えるのも一つの手だと考えます。</p> <p>現在、全国的には前述の給食無償化同様、目的の一つ移住定住を促進するために展開されています。今後、一層の調査研究を実施し、教育委員会の話題に挙げたらいかがでしょうか。</p> <p>そこで以下のことについて伺います。</p> <p>① 全国で展開されている山村留学の現状について伺います。</p> <p>② 土肥地区での山村留学実施は可能性があるのか。</p> <p>③ 義務教育学校の教育内容と成果、空き家の活用、豊かな自然（海）を3点セットとして相互に連携させたアピールはできないか。</p> <p>④ すでに実施している市町村は「ホームステイ方式」「寮方式」「併用方式」「家族方式」の4方式から選択し実施しているが、このことについてどんな見解をもっていますか。</p>	<p>教育長</p>



発 言 通 告 書

下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年 2 月 10 日

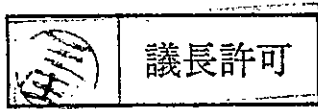
伊豆市議会議長 様

議席番号 16 議員名 木村建一

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 天城支所跡地を公募したとしても、東京ラスク事業展開に支障はないと判断していますか	<p>菊地市政誕生以来、今日までの事業内容や政治姿勢について議論をしていきたいと思えます。</p> <p>①平成30年2月の株式会社DAIKICHI（東京ラスク）に建物と土地を売却するという覚え書を9月議会で一部変更し、建物を市が解体する予算が可決。今後、DAIKICHIへの売却だけでなく公募も検討するとしています。支所の周辺跡地を公募したとしても東京ラスクの事業拡張により市山地区が、商業施設として発展するという当初の目的に何ら支障はないと判断していますか。</p> <p>②令和元年9月議会では、市は、DAIKICHI（事業者）が両施設を使う予定はないので更地にする。解体イコール公募もあるということになりました。しかし、市長の見解を正確に確認するために、11月6日の地区懇談会会議録を読みましたが、「行政執行部の事情が変わって（更地にして）公募する」と読み取れました。整合性を求めます。</p>	市長
2. 「人口危機宣言」から11年、市民に何を語りますか	<p>人口減少の課題は、第2期総合戦略においても「ひき続き人口減少に特化した施策を最優先」を掲げています。残念ながら、人口危機宣言から今日まで人口減少、少子化は続いています。私は、減ったこと自体を直接問題にしていません。重要なことは、いままで何を掲げ、その掲げた目標への取り組みは、市民目線からどうだったのか。何が良くて何がまだ足りなかったのか、市長が説明をし市職員、市民が共有することだと考えます。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>3.子育て応援から見た国保の子ども均等割をどう見えていますか。</p>	<p>この論議を深めるために、以下の点について、11年間を振り返ってその時々発言の経緯を聞かせてください。</p> <p>① 平成21年6月議会で、人口減少を3万5,000人で食い止めると「人口危機宣言」を発し、「雇用の創出」、「所得の向上」、「定住の促進」といった具体的施策を果敢かつ着実に取り組む。</p> <p>② 平成24年3月議会では、新たな道路網を念頭に置いた企業誘致と若者世代自身による起業支援。30代前半で300万円の年収確保で結婚できるように。出生数が極端に少ないのは、伊豆半島全域ではなく伊豆市特有の課題、その障害さえ取り除けば必ず打開策が見えてくる。</p> <p>③ 平成30年3月議会では、人口減少に対する危機感が変わっていない。人口全体が減っていくのは仕方がない。</p> <p>④ その時々ではなく、少しながいスパンでお聞きします。2015～2019年度の総合戦略では、2012年の合計特殊出生率、1.25を2020年に1.69へ向上する計画でしたが到達点及びこの目標をどう見えていますか。</p> <p>前議会で私は自治権の範疇として市長に質問しましたが、市長は制度の問題として市長自らの答弁はありませんでした。子育て応援の視点から、赤ちゃんを一人前として国保税・均等割を課すことをどう思われますか。</p>	<p>市長</p>



発 言 通 告 書

下記のとおり発言したいので通告します。

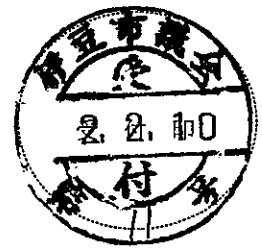
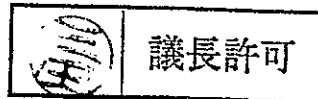
令和 2年 2月 10日

伊豆市議会議長 様

議席番号 5 議員名 鈴木 正人

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
3期12年の市政運営の総括を	<p>市長は、昨年の伊豆市議会12月定例会の一般質問の中で、議員の「来期への挑戦の意志を伺いたい」という質問に答える形で、来たる4月の「伊豆市長選挙」への「4選目の出馬」を正式に表明されました。</p> <p>私も同じ12月定例会にて、「平成30年度決算から3期12年の菊地市政をみる」と題して、市長自らが市長のこれまでの市政運営をどう総括されているのかを一般質問にて質したところであります。</p> <p>今回の市長選挙は、市長自らが「改めて主権者である市民の判断を仰ぎたい」と話されている通り、これまでの「3期12年」の菊地市長の市政運営の是非を問う、極めて重要な選挙であると私は考えております。</p> <p>そこで改めて、「3期12年の市政運営」についてどのように総括され、選挙に臨まれるのかを明らかにするために、以下伺います。</p> <p>① 市内の地域経済(市の活力)全般について ② 学校再編成について ③ 市長の政治姿勢について</p>	市長 教育長



発 言 通 告 書

下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年 2月 10日

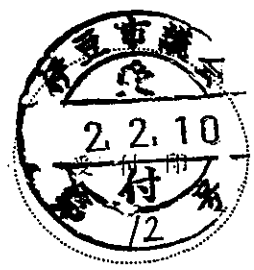
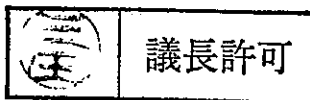
伊豆市議会議長 様

議席番号 14 議員名 杉 山 誠

No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()		答 弁 を 求 め る 者
発 言 の 要 旨		
件 名	内 容	
1.防災公園の整備について	<p>防災公園とは、地震や火災などの災害が発生したときに、住民の生命、財産を守るため、避難地、避難路等として機能する都市公園で、広域防災拠点の機能を有するもの、広域避難場所の機能を有するもの、一時避難地の機能を有するもののほか、避難路、緩衝緑地の機能を持つもの、また、町内会など地域での身近な防災活動拠点となる小公園などを含めることがあります。</p> <p>防災公園に求められる施設・設備はその機能・役割等によって異なりますが、基本的には広場・園路を有し、避難者や緊急車両のアクセスなどに対応できるスペースがあること、また、広域防災拠点の機能を有する場合は、消防救援、医療・救護、資材搬送等のためのヘリポートを有したり、被災後の仮設住宅を設置できるスペースを有することもあります。</p> <p>さらに備蓄倉庫のほか、耐震性貯水槽や非常用井戸、非常用トイレ、炊き出し用かまど(平時はベンチ)などを備えるところもあります。</p> <p>阪神淡路大震災は、人的・物的にも大きな被害をもたらしましたが、公園緑地における被害は少なく、避難地、救護拠点、復旧拠点あるいは仮設住宅用地として、公園が大きな役割を果たしたことから、公園・緑地の防災機能について研究がすすめられ、国庫補助の対象にもなっています。</p> <p>当市では地域における避難所も、土砂崩れや水害の懸念される場所が多く、救援部隊の拠点となる場所もありません。</p> <p>また、備蓄倉庫がないことから、非常食はもちろん避難生活に必要な資材も圧倒的に不足していると聞きます。</p> <p>自然災害のリスクが年々高くなっている現状を踏まえ、当市における防災拠点機能を有する公園の早期整備が求められますが、当市の防災備蓄などの現状と、必要とされる機能・設備、それらの整備にかかる財政負担を和らげるための方策などについて伺います。</p>	市長
2.新中学校の体育関連施設について	<p>日向地区を建設候補地とする新中学校について、「よりよい教育環境」の整備に向けて、早期の開校が待たれるところです。</p> <p>この中で体育関連施設については、より安全で、運動しやすい環境整備が必要と考えます。</p>	市長 教育長

件名	内容	答弁を求めもの
<p>3. SNS 犯罪から子供を守る取り組みについて</p>	<p>そこで、現在の中学校グラウンドは、陸上競技 200 メートルトラックの広さが多いが、中学生となると走力も上がり、コーナーを曲がるのに全力で走ることをセーブしている姿も見かけられることから、より大きな陸上トラックが確保できないものでしょうか。</p> <p>また、体育館の壁について、耐衝撃性のあるクッション壁を採用することで、勢い余って壁に衝突したときの怪我を防ぐとともに、体育館利用の要望があるフットサル競技にも使えるなど、より多くの活用が見込まれると思えますがいかがでしょうか。</p> <p>さらに、学校体育館は、災害時の避難所としても活用されることから、各地で体育館へのエアコン設置が行われています。当市では普通教室、特別教室のエアコン整備は行われましたが、運動時や避難時の熱中症予防のためにも、体育館へもエアコン整備を進める必要があると思えますが、いかがでしょうか。</p> <p>^{ライン}LINEやツイッター、フェイスブックなど、登録した利用者同士がインターネット上で交流できる SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) を通じて、子どもが見知らぬ人と知り合い、事件に巻き込まれるケースが増加しています。</p> <p>警察庁の統計によると、2018 年に SNS を通じて犯罪被害に遭った 18 歳未満の子どもは 1811 人で、そのうち高校生が 991 人、中学生が 624 人、小学生も 55 人に上り、統計を取り始めた 2008 年の 792 人から右肩上がりで増え続け、今や倍以上に激増しています。</p> <p>罪種別にみると、児童買春・ポルノ禁止法違反が 944 件、淫行などの青少年保護育成条例違反が 749 件と多く、略取誘拐も 42 件発生しています。</p> <p>被害に遭った子どもが使っていた SNS は、世界中の人が利用し、日本でも人気のツイッターが最も多く、次に多いのが、中学生から大学生までの学生限定で、1 対 1 の会話もできるチャット型交流サイト「ひま部」、次に LINE が続きます。なお、この「ひま部」は登録者による事件が相次ぎ、今月 31 日に閉鎖されるとのことです。</p> <p>警察庁の調査によると、SNS を通じて犯罪被害に遭った子どもで、性的な表現や、違法薬物、犯罪などの有害情報を閲覧できないようにするフィルタリングの利用について、利用の有無を調べられた 1559 人のうち 1372 人 (88%) が利用しておらず、契約時から利用していなかった人は全体の 8 割以上に上るそうです。</p> <p>昨年 2 月に施行された改正青少年インターネット環境整備法により、スマートフォン販売店などに、18 歳未満の子どもが利用する場合は契約時にフィルタリングについて説明し、設定してから渡すことが義務付けられていますが、親が「設定しなくても大丈夫」と申告した場合は設定しなくてもよいことや、購入後に設定を解除してしまうこともできるため、有効に機能していないのが実情です。</p> <p>このような現状を踏まえ、SNS に潜む危険から子どもたちを守るため、家庭や学校など、あらゆる機会を使って子どもたちを教育する必要がありますが、どのように取り組む考えでしょうか。</p>	<p>教育長</p>



発 言 通 告 書

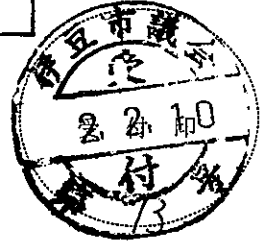
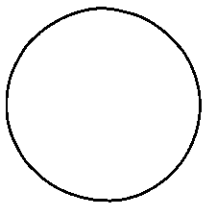
下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2 年 2 月 10 日

伊豆市議会議長様

議席番号 13 議員名 西島信也

発言の種別		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()	
発言の要旨			答弁を 求める者
件名	内 容		
新中学校整備 基本構想につ いて	<p>修善寺、天城、中伊豆各中学校の再編計画について、次のとおりお尋ねします。</p> <p>① 教育委員会は、土肥地区の小中一貫校は大成功と自画自賛しているが、3 地区の小中一貫校の是非についてはどのような検討をしたのか。</p> <p>② 教育委員会では、日向の農地と現修善寺中学校の 2 箇所を校地の候補地として検討した結果、日向の方を採用することだが、その理由を伺いたい。</p> <p>③ 校地選定について、現修善寺中学校の場合建替ではなく、一部改修の上そのまま使用するという案は難しい点が多いとのことだが、どこが難しいのか説明いただきたい。</p> <p>④ 伊豆市財政シミュレーション（令和元年 11 月）に計上した大型事業のうち、新中学校整備事業の概算事業費が 64 億 4 千万円となっているが、その積算根拠及び内訳を説明願いたい。</p> <p>⑤ 日向地区校地予定地の農振除外の状況と、今後の予定は、どうなっているのかお尋ねしたい。</p>		教育長 市長



発言通告書

下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年 2月10日

伊豆市議会議長 三田 忠男 殿

議席番号 15 議員名 森 良雄

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()		答弁を 求める者
発言の要旨		
件名	内容	
防犯カメラ	防犯カメラについては毎回、質問しています。	市長
	防犯カメラは12月議会からでも大きく変化しています。	
	防犯カメラは日々、進歩しています。AIの装着など	
	防犯カメラの一層の進化が、変化がうかがえます。	
	市長は防犯カメラの導入には消極的なようですが、防犯カメラには犯罪の抑止力に大きな効果があります。	
	犯罪抑止力に大きな効果があることについて、その抑止力は半端ではありません。市長はどう考えますか。	
	今回は改めて防犯カメラについての市長の考えを伺います。	
	市長の言う、地域力とはどんなものですか。	
	市長は防犯カメラなしでも犯罪捜査が成り立つと考えていますか。	
	防犯カメラなくして、犯罪捜査も成り立たなくなっています。	
	リレー方式は防犯カメラの利用方法です。主流となっています。	
	多数の防犯カメラが設置されていて成り立つものです。	
	AI搭載の防犯カメラも出ています。	
	伊豆市でも不審者は出ます。過去に瓜生野では不審者が出ています。大きくとりあげられなかっただけです。	
	防犯カメラの犯罪抑止力について、市長はどう考えますか。	
	地域力の方が犯罪抑止力が勝ると思いますか。	
	改めて、防犯カメラについて伺います。	
	防犯カメラを設置しませんか。安全な伊豆市をつくりましょう。	

件名	内容	答弁を求める者
働き方改革	令和に入り、世は働き方改革の世となっています。	市長
	改革なくして、伊豆市の発展はありません。	
	伊豆市の人口減少は止まることを知りません。	
	当然、市の職員の人数も削減されるでしょう。	
	しかし、仕事量が増えることはあっても減ることはありません。	
	市の業務は増えこそあれ、少なくなることはありません。	
	福祉社会がそうすることを求めています。福祉や教育は	
	より高度な仕事を求めてきます。量的な拡大を求めてきます。	
	市長はどう考えていますか、仕事量が減ると思いますか。	
	市長の考えを聞かせてください。	
	前は戸籍業務について伺いました。	
	戸籍業務ではどのくらいの経費が掛かっていますか。	
	5,000万円ですか。	
	戸籍業務で、掛かっている費用を伺います。伊豆市が戸籍業務	
	に掛けている費用について伺います。	
	掛けている人工(にんく)はどのくらいですか。	
	戸籍業務にかけている人工です。費用はどのくらいですか。	
	今回は戸籍民刑についても、伺います。	
	戸籍民刑はどこ部署で処理していますか。	
	戸籍民刑の電算システムにかかる費用はいくらですか。	
	掛けている人工(にんく)、費用はどのくらいですか。	
	前回は言うておりますが電算システムには多額の費用が掛かっ	
	ています。	
	伊豆市ではおよそ電算機への費用は年間1億5千万円です。	
	このうち5,000万円は節約できるのではないかと考えます。	
	それは、三市の電算センターへ移管することです。	
	三市の電算センターへは伊豆市で独自に処理している費用分も	
	三市の電算センターへ支払っていると考えられるからです。	
	質問している業務を三市の電算センターへ移管すべきです。	

件名	内容	答弁を求める者
通学路の	12月議会の一般質問に引き続き、確認します。	市長
安心・安全	市長は通学路の安心安全をどう考えていますか。	
	安全であると考えていますか。	
	国は通学路沿いにある水路の安全策を図るように指導しています。承知していますか。	
	それに対する伊豆市の取り組みについて伺います。	
	教育長に伺います。	教育長
	通学路の安心安全策について伺います。防犯カメラの取り付けについては市長は消極的です。	
	防犯カメラ以上の安心安全策があると思いますか。	
	防犯カメラの犯罪抑止力は大きいと思います。	
	コストや労力を考えた時、防犯カメラ以上の犯罪抑止力があると思いますか。	
	防犯カメラを設置されていると良いと思いませんか。	
	通学路に用水路などの水路があることは承知していますか。	教育長
	瓜生野の県道沿いには歩行者のためのレーンがあります。	教育長
	ここを自転車で通る一般の方や中高生がいます。	
	法令では自転車は左側通行で車道を走るのが正規と思いますが学校ではどのように指導しているのでしょうか。	
	沿道の市民から危険との声があります。	
	統一した通行方法を周知してはいかがでしょうか。	
トレイル	昨年末にはトレイルランニングレースが開催されました。	市長
ランニング	レースの状況を伺います。	
レース	コースは台風被害で荒れていたと思いますが状況はいかがでしょうか、復旧についても伺います。	
	このコースはトレイルランニングレースには向きません。	
	自然保護のためにも、伊豆市はレースから手を引きませんか。	

件名	内容	答弁を求める者
災害の	災害復旧の進捗状況はいかがですか。	市長
早期復旧	遅れているところがありましたら、お聞きしたい。	
パソコン教育	パソコン教育と言っても色々なものがあります。	教育長
	A I 教育、プログラミング教育と様々な教育があります。	
	もし、伊豆市でも A I 教育があるようでしたらどんな教育をするのか教えてください。	
	パソコン教育についてはパソコンは必需品です。	
	パソコンの配備状況はいかがでしょう。児童一人一人に行き渡っていますか。整備状況を伺います。	
	国の方針は一人一台のようです。	
	一人一人に行き渡っていないようでしたら、いつまでに整備する予定か知りたい。	
	パソコン無くしてパソコン教育はできません。	
	パソコンも安くなりました。すみやかな整備をお願いします。	
	プログラミング教育も話題に上がっています。	
	プログラミング教育は指導者の数が必要です。	
	できるだけ多くの指導者や支援員が必要です。	
	伊豆市のプログラミング教育の考え方をお聞きしたい。	
	優秀な指導者の確保が必要と思います。	
	新しく始まる教育です。子どもたちがつまづかないよう、注意してやりたいものです。	
	最初が肝心です。つまづきは一生の問題となります。	
	プログラミングが好きになるような教育をしてもらいたいものです。つまづいて嫌いにならないように指導していただきたい	
	これからの教育だと思います。指導についての考えを伺います。	
	大容量の Wi-Fi を整備する自治体も出てきています。パソコン教育を進めるためにも必要と思いますがいかがですか。	